



インターナショナルオフィス長就任のご挨拶

インターナショナルオフィス長 徳田 雅明

平成27年10月1日付で、香川大学インターナショナルオフィス(Kagawa University International Office: KUIO)長に就任いたしました。KUIOは、留学生センターと国際研究支援センターからなり、留学生の受け入れや日本人学生の海外派遣の推進と、共同研究推進への協力やシンポジウムの開催など研究交流の推進に関わる業務を担当し、香川大学キャンパスのグローバル化に貢献しています。

今や日本全体が「グローバル化」をキーワードとして、世界を舞台に活動することを目指しています。国立大学においても、世界に通用する教育を実践し、世界を舞台として活躍できる人材、世界観を持って地域で活躍できる人材の育成が求められています。

香川大学では、平成35年までに留学生受け入れ400人、日本人派遣100人を旨とする「4 & 1 プラン」を平成25年に立ち上げています。すでに2年半を経過し、徐々にその成果は挙がりつつありますが、まだまだ活性化が必要です。平成27年にオープンしたイングリッシュカフェでは、留学生や日本人学生が毎日のように集まりさまざまな活動をしています。多国籍の学生が一緒にいることが当たり前のことになり国境を意識しないような環境作りが、徐々に進みつつあります。今後も、留学生受け入れや日本人学生の派遣を強化するための教育プログラムの充実や、国際寮などのインフラ整備や奨学金などの支援制度の充実など数多くの課題が残っており、インターナショナルオフィスがその核となって、指針を示していければと思っておりますが、やはり主役は各学部・研究科の教員や学生であることは間違いありません。協定校を中心に、グローバルな教育・研究・地域貢献プログラムを展開していくためにご協力ください。

また、これまでも多くの地域の皆様方にKUIOの活動を支援していただいております。自治体や政府の諸機関・諸団体、地域の国際交流団体の皆様、ホームステイなどさまざまな活動に協力していただいている個人の方々など、本当に多種多様な多くの団体・個人に助けられて成り立っています。今後ともどうぞ我々の活動に注目していただき、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



<国際交流活性化の推進>

平成27年度国立大学法人等国際企画担当責任者連絡協議会を実施

平成27年12月17日(木)、18日(金)の2日間、「大学に求められる国際貢献と地域貢献」をテーマに、平成27年度国立大学法人等国際企画担当責任者連絡協議会が、本学を当番校として開催され、全国から国際担当の理事、副学長、事務職員等約200名が参加しました。

本協議会は、国立大学法人等における国際企画に係る協議を行うとともに、文部科学省等関係機関との情報交換を促進することを目的とし、毎年、開催しているものです。

1日目は、かがわ国際会議場を会場に、「ASEANの小王国ブルネイと日本の外交政策」と題して、ブルネイ駐箚特命全権大使の伊岐典子氏による基調講演が行われました。続いて、文部科学省から、大臣官房国際課長の豊岡宏規氏による「教育分野における国際戦略について」、高等教育局高等教育企画課国際企画室長の松本英登氏による「大学の国際化に関する文部科学省の取組と大学における安全保障貿易管理」、科学技術・学術政策局科学技術・学術戦略官(国際担当)の坂口昭一郎氏による「科学技術力の強化と大学の国際化」と題する施策説明が行われました。

2日目は、本学講堂を会場に、「これからの日本の国際協力と大学の役割」と題して、独立行政法人国際協力機構理事の加藤宏氏による講演が行われました。最後に、本学の徳田副学長(国際戦略・特命担当)が「香川大学の目指す国際貢献と地域貢献」と題する講演を行いました。

各参加者は、2日間を通して、講演や施策説明を熱心に聞き入るとともに、講演者や説明者と活発な質疑応答や意見交換を行いました。

(国際グループ 上田幸司)



ブルネイ駐箚特命全権大使、伊岐氏による基調講演

学術交流協定締結調印

2015年 9月24日 本学とハノイ工科大学との学術交流協定書

2015年 10月23日 本学教育学部とノースイースタンヒル大学地理学科との学術交流協定書

2015年 11月19日 本学とアサンプション大学との学術交流協定書

2016年 2月17日 本学農学部及び大学院農学研究科と嘉義大学生命科学院との学術交流協定に関する実施細則

(国際グループ 上田幸司)

国立嘉義大学派遣団が香川大学長を表敬訪問

平成27年11月24日(火)、本学と交流協定のある台湾・国立嘉義大学の教員 8 名、学生 4 名が、長尾学長を表敬訪問されました。本学からは長尾学長、工学部垂水教授、教育学部高木教授が出席し、国立嘉義大学からは丁志權教授、陳俊憲教授ら12名が出席しました。

嘉義大学とは平成25年の交流協定締結以前より、毎年ワークショップを開催し交流を続けております。今年度は11月22日(日)～24日(火)の日程で第4回ワークショップを開催し、本学教育学部、工学部、農学部との交流をしました。今後も各分野での継続的な交流が期待されます。

(国際グループ 上田幸司)



記念撮影

アジアの防災コミュニティ形成のための視察団訪問

平成27年12月17日(木)、東南アジア 3 カ国(フィリピン、インドネシア、マレーシア)の防災関係の研究者 6 名が本学を訪問し、危機管理研究センターで同センターやインターナショナルオフィスの教員らと各国の防災の取組みに関する意見交換を行ったほか、センターに設置されている3次元バーチャルリアリティを用いた訓練システムを体験しました。

訪問団の一人、インドネシアのスマトラ島アチェ州にあるシアクアラ大学津波防災研究センターのスハダ・アリエフ研究員は、「(2004年のスマトラ島沖地震津波以降)アチェでも防災教育が浸透し始めたが、日本の防災教育と比べると歴史が浅い。香川県で行われている防災の研究・教育活動の例を聞いて、何が有効で、何が有効でないかを考えるよいきっかけとなった」と話しました。

今回の視察・意見交換は、日本学術振興会の研究拠点形成事業「アジアの防災コミュニティ形成のための研究者・実務者・情報の総合型ネットワーク拠点」の一環として実施されました。

(インターナショナルオフィス 細田尚美)



危機管理研究センターを訪れた東南アジアの研究者(前列)

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム

平成25年度から、「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～」が開始されていますが、平成27年度前期(第4期)から、香川県が本プログラムに参画することとなりました。本学も県のプログラム「香川地域活性化グローバル人材育成プログラム」の参画団体として、トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムの派遣留学生を送り出すこととなりました。

「香川地域活性化グローバル人材育成プログラム」は香川県内の企業などからいただいた寄附と、香川県と高松市、香川大学とが出資する資金にあわせて、独立行政法人日本学生支援機構から



馳文部科学大臣と本学学生(左から2人目)
(文部科学省講堂で開催された壮行会にて)

の補助金のほぼすべてを、県内の高等教育機関に在籍する日本人学生等の海外留学への奨学金にあてるといふものです。

第4期生として本学からは4名が採択されました。全国コースとあわせると、本学からの派遣留学生は合計9名となりました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)

JICA「大学生国際協力フィールド・スタディ・プログラム」に教育学部3年宇野満里加さん参加(ラオス)

政府が推進する「グローバル人材育成戦略」では、国際的に誇れる大学教育システムの確立や高等教育の国際展開の推進が掲げられています。JICAが有する開発途上国における知見と、事業の現場は、グローバル人材に求められる資質を伸ばすには最適の場のひとつです。本プログラムは、大学生が途上国の国際協力の現場でフィールド調査演習を行うことを通して、グローバルな視点と問題発見・解決能力を身につけることを支援します。本学からは、昨年、経済学部1年(当時)高橋佑芽さんがインドネシア、同、荘眞奈美さんがカンボジアにそれぞれ派遣されました。全国の大学から多数の応募の中、40名のみが参加できるプログラムですが、2年連続香川大学から参加しています。

http://www.jica.go.jp/partner/college/field_study.html

(インターナショナルオフィス 熊谷信広)

平成28年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)申請プログラム採択

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の平成28年度海外留学支援制度に8プログラム、2,866万円分の奨学金が採択されました。この奨学金は返還不要で、外国人学生及び日本人学生に月額6~10万円が支給されます。

・採択プログラム(協定派遣)

グローバルな視点を有し地域貢献を担う人材育成を基盤に学校教育教員資質向上を目指したAAE異文化交流短期派遣プログラム(申請部局:教育学部)、複線型グローバル教育プログラム(申請部局:経済学部)、医学・看護学における自己啓発的グローバルディスカバリープログラム(申請部局:医学部)、国際インターンシップを活用したグローバルエンジニア育成プログラム(派遣)(申請部局:工学部)、食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型派遣プログラム(申請部局:農学部)、香川大学学生交流(短期派遣)プログラム(申請部局:インターナショナルオフィス)

・採択プログラム(協定受入)

香川県近郊をフィールドとした異文化理解教育支援短期受入れプログラム(申請部局:教育学部)、食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム(申請部局:農学部)
(国際グループ 溝淵雅子)

<インターナショナルウィーク>

毎年実施している本期間ですが、今年度は拡大版として、1ヶ月間の実施となりました。以下では行事等をお伝えします。

留学Roundtable

日本人学生による海外留学や海外研修を促進するため、「留学Roundtable」という新たな試みを平成27年12月2日(水)に実施しました。海外留学や研修の経験を持つ5名の日本人学生と本学に来ている交換留学生(特別聴講学生)3名をパネリストとして呼びました。日本人学生には各自の留学あるいは研修体験を語っていただきました。他方、留学生には自国の出身大学を紹介してもらいました。



留学生パネリスト



日本人パネリスト

参加した学生たちは直接パネリストたちに質問をして、情報を得ていました。今後も、本学学生に海外留学や研修の情報を提供できるよう、次年度も第2回のRoundtableを継続する方向で考えています。

(インターナショナルオフィス ロン リム)

海外留学講演会

平成28年12月9日(水)、百十四銀行の市場国際部から佐熊謙一氏をお招きして、「海外留学講演会」を開催しました。佐熊氏は、大学卒業後に百十四銀行へ入行され、県内外の支店へ配属された後、市場国際部へ異動されました。異動の1年後に日本貿易振興機構へ出向され、インドのムンバイ事務所へ赴任されました。講演会では、銀行員としての業務のなかでの海外とのつながりやインドでの担当業務の他、海外(インド)から見た日本のイメージや海外で生活することの楽しさについても講演いただきました。

講演会へ参加した学生は、一般的にイメージする銀行や銀行員の業務と佐熊氏の実際の業務とを比較したり、将来、海外とつながりのある仕事を職業とすることを具体的に思い描いたりしていました。

佐熊氏からは最後に日本人学生に対して、どんなことを仕事とするかに関わらず、日本(日本人)と海外(外国人)との関係はますます緊密になって来ること、その状況下において、大学生が今何をすべきか、何を考えるべきかのメッセージもいただきました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



佐熊謙一氏



講演会の様子

ホームビジット報告会

平成24年度より、本学が事務局を務める香川県留学生等国際交流連絡協議会が実施母体となり、県内に住む留学生と地域の日本人との交流や日本文化の理解を目的としたホームビジット事業を年2回行ってきました。4年目となる今年度は、本学の行事であるインターナショナルウィークの一環として初めてのホームビジット報告会を開催することとし、平成27年12月16日(水)に本学オーリーブスクエアにて開催しました。当日は、ホームビジット参加学生、ホストファミリー、本学教職員をはじめ、その他の留学生や県関係者なども参加し、体験談の発表や意見交換、茶話会などを通じて情報共有が行われました。

(インターナショナルオフィス 塩井実香)



会場全体



ディスカッションの様子

パネル展示

インターナショナルウィーク期間中、図書館中央館2階ロビーに、留学生センターに所属する学生が作成したパネルを展示しました。テーマは出身国のスイーツで、台湾、ミャンマー、メキシコ、タイ、ブルネイ・ダルサラームの5カ国の紹介パネルが展示されました。

(国際グループ 浅野文恵)

部局別ガイダンス

平成28年12月10日(木)、農学部国際交流委員会主催の「海外留学説明会」において、農学部及び農学研究科の学生が参加できる海外留学プログラム、及び海外留学奨学金についての説明を行いました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)

平成27年度学長主催外国人留学生交歓会を開催

平成27年12月8日(火)、外国人留学生、教職員及びチューター等日本人学生と地域や国際交流団体の方々との親睦を深めるため、学長主催による外国人留学生交歓会をホテルパールガーデンにおいて開催し、約300名が参加しました。

交歓会は、教育学研究科のNurul Mawadda (ヌルル マワッダ)さん、経済学部の陳 星(チェン シン)さんの司会進行のもと、長尾学長の挨拶に続き、留学生代表の教育学部4年 Azalia Binti Zaharuddin (アザリア)さんの挨拶、徳田副学長(国際戦略・特命担当)による乾杯の音頭で開始されました。また、ベトナム、タイ、インドネシアからの留学生によるダンスが披露され、大いに盛り上がりました。

最後にロン留学生センター長による挨拶で交歓会を締めくくりました。これを機に本学の留学生達が、さらなる交流の輪を広げ、日本での留学生生活を充実したものにしてくれることを願います。

(国際グループ 浅野文恵)



学長(右から2人目)、オフィス長(同3人目)と
さめきプログラム学生

<学生対象行事>

平成27年度10月期新入外国人留学生ガイダンス

平成27年10月3日(土)、新入留学生41名とそのサポーター・チューターを務める日本人学生や先輩留学生35名が参加して、新入外国人留学生ガイダンスが教育学部415教室にて行われました。全員で高松北署の警



ガイダンスの様子

察官による法令遵守や自転車マナーに関する説明を受けた後、後半は2会場に分かれ、留学生センター教員による生活面・学業面に関する説明が、会場別にそれぞれ日本語と英語で行われました。終了後は、引き続きオリーブスクエアにて歓迎パーティーを開催しました。地域の方々や上記以外の在生も参加し、総勢119名による暖かくにぎやかな雰囲気の中、新入留学生の本学での新生活がスタートしました。

(インターナショナルオフィス 塩井実香)

平成27年度秋期日本語研修コース及びさめきプログラム開講式

平成27年10月、留学生センター留学生として、文科省日本語・日本文化研修生2名(ミャンマー、メキシコ各1名)とさめきプログラム3期生3名(タイ1名、ブルネイ2名)が入学し、平成27年10月5日(月)に合同で開講式を行いました。日研生は1年間本学に在籍し、日本語能力をさらに磨きつつ各自の興味・関心に応じた授業を履修し、日本語による修了レポートを仕上げ修了します。さめきプログラムは半年(1学期)のプログラムで、学生は日本語の基礎から学ぶと共に、英語で行われる日本事情の授業を受け、各自で決めたテーマのもと、香川に関する英語の修了レポートを作成して修了となります。5名それぞれが実り多い留学生生活を過ごすことを願い、我々も学業・生活両面からサポートしていきます。

(インターナショナルオフィス 塩井実香)



開講式

第2回課外教育行事

平成28年11月28日(土)、今年度2回目の課外教育行事を実施しました。今回は、香南アグリームにおける柿の収穫体験およびお菓子作りという内容でした。実は、収穫体験はもう1種類予定されていましたが、発育状況が思わしくなく、残念ながら柿のみでしたが、学生たちは楽しくかごに入れていました。その後、指導を受けながらカップケーキを焼き、本来は翌日のほうがおいしいそうですが、皆すぐに食べていました。日本の季節の楽しみを体験できたことと思います。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



柿の収穫

さぬきプログラム修了式

平成28年2月10日(水)、秋期さぬきプログラム修了式を実施しました。修了生は、ブルネイ・ダルサラーム大学からの2名およびチェンマイ大学からの1名です。3名の修了生は、平成27年10月から日本語や日本の文化を学び、その成果を日本語によるスピーチで披露しました。若干緊張していたようですが、立派にスピーチを終えた学生たちに修了証書が授与されました。今回は仏生山国際交流会の皆様にご協力いただき、修了生は着物を着て式に臨むことができ、感激していました。当日のスピーチの一部は、12ページ「留学生の声」に掲載しています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



修了式

さよならパーティー

平成28年2月10日(水)、上記修了式の後、様々な形での留学を終え、帰国する学生たちのための意見交換会(通称さよならパーティー)を実施しました。お忙しい中、学外からも多数の皆様がお越しになり、学生にとっては期末テスト期間中という状況でしたが、卒業・修了生たちとのひとときを楽しみました。留学生たちが帰国に際しての様々なメッセージを発表した他、さぬきプログラム修了生たちが、日本語の文法学習を兼ねた歌を披露しました。卒業・修了生の皆さん、またお会いしましょう。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



集合写真

平成27年度(冬季)海外渡航者向け 危機管理セミナー



梶村 詔子氏

平成28年2月18日(木)、株式会社JTBSupportプラザ大阪ビジネスサポートセンターのマネージャー・梶村詔子氏を講師としてお招きし、インターナショナルオフィス主催「海外渡航者向け 危機管理セミナー」を開催しました。

最近、海外での事件や事故のニュースがよく聴かれますが、それらのなかには「避けることのできた」ものも少なくありません。今季のセミナーからは、私事渡航(個人旅行や卒業旅行など)の学生にも参加を勧め、梶村氏には、「海外研修/留学生のための海外リスクマネジメント」として、海外渡航中に起こり得るさまざまなリスクと事故を、国別、地域別にご説明いただきました。

後半は、ジェイアイ傷害火災保険株式会社中国四国支店の長沼康行氏から、本学日本人留学生の多くが加入するジェイアイ傷害火災保険の窓口対応や付帯するサービスについてもご説明いただきました。

参加した学生は、留学や研修、旅行での出発を目前に控えたはやる気持ちを一旦落ち着かせて、真剣な表情で講師の方々の話に耳を傾けていました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



会場の様子

就職支援

平成27年10月30日(金)、留学生就職活動準備セミナーを実施しました。準備のための本セミナーでは、県内で就職した先輩元留学生による就活体験談(大川自動車株式会社 李曉鑫氏)、接客マナーや食事マナーを実践する日本文化基礎講座(教育学部 加藤みゆき教授)、日本における就職活動について(マイナビ担当者)の3つの内容を学ぶことができました。

平成27年11月20日(金)、留学生採用支援セミナーを、12月10日(木)に留学生活用セミナーを実施しました。いずれも、企業の皆様方に本学を含む留学生をご理解いただき、採用へ向けた第一歩としていただくことを意図したもので、前者では本学キャリア相談員の神崎 優が、後者では大川自動車株式会社の田尾 勝氏が講演を行い、その後留学生と企業の人事担当者との交流会が行われました。

平成28年1月15日(金)、日プラ株式会社本社・本社工場を訪問し、企業見学会を実施



企業見学会

しました。工場内を説明を受けながら見学した後、連絡役もしてくださった

平木拓氏や本学卒業生の王珊氏のみならず、専務取締役敷山靖洋氏にも様々な質問に応じていただきました。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



キャリア相談員(神崎)による講演



交流会での田尾氏と企業担当者

第12回外国人留学生作文コンテスト表彰式および留学生等による活動報告会

平成28年11月27日(水)、香川県留学生等国際交流連絡協議会主催で作文コンテスト表彰式及び活動報告会を開催しました。作文コンテストでは11件の応募のうち4名が入賞しました。入賞者への賞状及び奨学金授与、徳田インターナショナルオフィス長からの祝辞、塩井審査委員長の講評のあと、今年度初めての試みとしてロン留学生センター長がインタビュアーとなり、受賞者へのインタビューを行いました。引き続き、高松大学と本学学生が所属校での1年間の活動を報告し、交流会では受賞者、発表者を含む留学生と参加された地域の方々和やかに談笑しました。

(国際グループ 浅野文恵)



受賞者へのインタビューの様子



交流会の様子

<外国人留学生リクルーティング活動>

留学フェアへの参加

本学は留学生のリクルーティング活動および広報活動として、各種説明会に参加しています。その一環として、平成27年10月31日(土)および11月1日(日)、ベトナムにおける日本留学フェアに参加しました。主催者は日本学生支援機構で、日本の大学等がブースを設け説明会形式で実施しています。今年度はインターナショナルオフィスより金および高水、ベトナムから本学に留学中のブイ クォク フィーさんが参加しました。31日の会場はハノイで、総来場者数は1,405名、1日の会場はホーチミンで、総来場者数は1,433名でした。本学ブースには、いずれの日も多くの留学希望者等が訪れ、熱心に質問をしていました。

フェア終了後にはドンズー日本語学校にて、貴重な意見交換を行うことができました。同校は本学を含め多数の日本への留学生を輩出しています。また、2日(月)には、同校の留学生センターにて、



説明するフィーさん

本学について広報する機会を得ることができました。同校からの留学生のほとんどは、同校を卒業後に一度日本の日本語学校でさらに研鑽した後、日本の大学等へ進学していますので、これらの活動の成果が出るのはしばらく先になりますが、学生たちが本学に進学してくれることを願っています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)

<国際交流の環境づくり>

新規国際寮の紹介

香川大学には、主に本学留学生を対象とする宿舎がいくつかあります。留学生会館や花園寮に関しては、今までも行事等の実施場所として、本ニュースにも掲載されてきました。この度、新たな試みとして、ビルを借り上げ、香川大学上之町国際寮という名称で留学生も日本人学生も居住可能な混住寮として運用を始めます。開始に際しては、内外装をリフォームし、生活必需品の家具・設備を設置しております。もう一つ、この寮の目玉として、基本的には2名(留学生と日本人学生1名ずつ)でのルームシェアとなっています。本学としてこのような試みは初めてですが、学生たちの国際性を育み、本学の国際化の一助となれるよう、皆様のご支援をお願いいたします。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)

留学生の声

(以下、抜粋を掲載しています。全文は<http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/voice/> をご覧ください。)

●日本語・日本文化研修留学生



ここに1年間留学することになって私の人生は本当に変わったと思う。前とは全然違って一人暮らしはあまり難しくないかなと思った。ここに5カ月くらいいて、自分自身も強くなって何でも自分がやりたいことならできるという気持ちが強くなった。なぜかと言うとたくさんの日本人の友達を見てこのように考え始めたからだ。友達は自分と同じ年だけど、みんな家族から遠いところにおいて一人暮らしができるのはすごいなあと感じた。日本の子供を見ても恥ずかしいと感じた。それは、毎日大学に通っている道で、小学生の子供たちは学校が終わっても親が学校まで迎えに来る必要がないからだ。それを見て日本の子供は偉いと感じた。そして、小学校から大学まで学生を中心にする日本の教育制度が好きである。ここに来てそのことがよく分かった。だから、日本についての私の経験を、国へ帰ったら国の友達や知人などとなるべくシェアしたいと思う。

SU YADANAR THIT (スヤダナーティッ)ミャンマー



香川大学の留学生として、毎日が新しい発見の連続です。もちろん日本の文化、生活、言語などを学んでいますが、国際的なことも徐々に詳しく分かるようになってきています。メキシコのアカプルコから四国に初めて来た際、故郷と同じく、自然を大切にしていることに気づき、嬉しく思いました。屋島から幸町と三木町キャンパスに行く道の景色は美しく、自転車に乗りながら学校に来る時に、とても元気をもらっています。うどん県で友達と勉強したり、日本の文化を経験したり、世界のあちこちから来ている仲間と交流したり、充実した時間を過ごしています。これからも日本語能力を向上させたいと思っています。また、讃岐と日本の伝統的な美術も楽しみたいと思います。香川大学に来てから人生の中で最高の時間を生きています。

FRANCISCO JAVIER NICOLAS FELIX (フランシスコ・ハビエル・ニコラス・フェリックス)メキシコ

●さめきプログラム留学生



左からナット、アジム、ウミ

日本に着いてから5カ月が経ちました。しかし昨日が着いた日みたいです。思ったより時間が速かったです。もうすぐ帰国します。かがわのキャンパスはとても楽しいです。日本人の友達や外国人の友達などがたくさんいます。いろいろな国から来た友達に会いました。みんな大好きです。ここでいろんなことを経験しました。初めての日本についての勉強、初めてコスタリカ人に髪を切ってもらったこと、カラオケ、笑い、町で走ることなど、友達とともにすごした楽しい時間、つらいこと、すごく覚えています。

NATT MALEE (ナット マリー)タイ

にほんでわたしはやさしいひとにあって、いろいろなところへいきました。にほんへくるまえに、にほんでおかねをせつやくしたいとおもっていました。……(中略)……そして、たくさんかいました。ですから、いまおかねがありません。わたしのあたらしいかみがたはにっぽんせいです。かわらまちえきのちかくのところでかみをきりました。

ABDUL AZIM BIN HAJI ABD RAHMAN (アジム ラーマン)ブルネイ・ダルサラーム

このプログラムのおかげでわたしはじぶんのからをやぶることができました。せんせいやチューターのともだちなどたくさんのにほんじんにあいました。そしていろいろなくからのりゅうがくせいとともだちになりました。ですからまだゆめのようです。わたしはかがわでだいじなおもいでをきょうゆうしたすべてのみなさんにありがとうございましたといたいです。

UMMI RAFIQAH BINTI HAJI OMARALI (ウミ ラフィカ)ブルネイ・ダルサラーム

インターナショナルオフィスからのお知らせ

先にご紹介しました通り、国際寮の運用を始めます。日本人学生の皆さんにとっても、若い時期に貴重な体験ができます。今後も随時募集していきますので、ぜひ入居をご検討ください。

海外留学フェア、その他の海外留学情報(奨学金等)をメールマガジンで配信しています。受信を希望する本学学生は、stu-abr@ao.kagawa-u.ac.jpまでご連絡ください。送信時、メールの件名は「海外留学情報希望」、本文には学籍番号と氏名、メールアドレスを記載してください。

平成28年4月27日(水)、県内の留学生を対象に、百十四銀行によるセミナーが実施されます。将来、日本(香川)での就職を目指している皆さん、貴重な機会ですので、ぜひ参加しましょう。

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第14号 2016年(平成28年).3.31

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町1-1
Tel : 087-832-1194 Fax : 087-832-1192
E-mail : soryugase@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
URL : <http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>
留学生センターfacebook
URL : <http://www.facebook.com/KUISC>